社会福祉法人三島市社会福祉協議会

平成 29 年度事業報告書

超高齢化・少子化及び核家族化の進展に伴い、地域社会や家庭機能が変化し、社会的孤立、虐待、いじめ、悪質商法被害、生活困窮、認知症高齢者の増加など、市民の生活はこれまでの福祉制度の枠組みでは対応することが難しい新たな福祉課題が顕在化・多様化しています。

そのため、国では介護保険制度や障がい者総合支援制度、子ども・子育て支援新制度、生活困窮者自立支援制度など、さまざまな制度改正が進んでいますが、これらの制度改正の共通の方向性は、地域の支え合いを広げて、みんなで受け入れ合い助け合う地域を広げていくという「地域福祉の推進」となっており、地域福祉活動の重要性はますます高まっています。

このような中、三島市社会福祉協議会では、社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的」と位置付けられた社会福祉協議会の原点を再確認し、「社会福祉協議会活動の５つの原則」、「第３次三島市地域福祉活動計画」に基づき、住民主体を旨とする地域福祉推進の中核的な組織として、役職員一丸となって、深刻な生活課題や社会的孤立などの新たな地域福祉の課題に向き合い、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援や解決につなげ、誰もが安心して暮らすことができる地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組んでまいりました。以下、各推進状況等について報告いたします。

Ⅰ　重点項目

1	地域福祉活動計画の推進	該当事業：地域福祉推進事業
2	地域における互助の振興を目標とした取り組みの推進	該当事業：地域福祉推進事業
3	地域における総合的な権利擁護体制の構築	該当事業：権利擁護事業
4	地域包括ケアの推進	該当事業：地域福祉推進事業
5	広報啓発事業の充実	該当事業：広報啓発事業
6	介護事業所等の施設整備の推進	該当事業：指定事業の運営

Ⅱ　組織構成と事業体型図

（平成 30 年 3 月 31 日現在）

Ⅲ　実施事業報告

１　法人運営事業

（１）組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

①理事会の開催状況

開催日	議題等
平成 29 年 4 月 1 日(土)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選定について
平成 29 年 6 月 13 日(火)	・平成 28 年度事業報告書案について ・平成 28 年度社会福祉事業収支決算書案について ・平成 28 年度公益事業収支決算書案について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程案について ・評議員会の招集について
平成 29 年 6 月 28 日(水)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選定について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について
平成 29 年 9 月 12 日(火)	・社会福祉法人三島市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程案について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会成年後見事業実施規程案について ・平成 29 年度社会福祉協議会資金収支補正予算書案について ・三島市社会福祉協議会社会福祉振興基金管理委員会委員の選任について ・平成 29 年度三島市社会福祉協議会表彰式における三島市社会福祉協議会会長表彰について ・評議員会の招集について

平成 29 年 12 月 11 日(月)	・平成 29 年度社会福祉協議会資金収支補正予算書案について ・三島市老人福祉センターの管理に関する協定書の締結について ・評議員会の招集について
平成 30 年 3 月 22 日(木)	・社会福祉法人に対する指導監査の実施結果について(報告) ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について ・平成 29 年度社会福祉協議会資金収支補正予算書案について ・平成 30 年度社会福祉法人三島市社会福祉協議会事業計画案について ・平成 30 年度社会福祉協議会資金収支予算書案について ・評議員会の招集について

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
平成 29 年 6 月 28 日(水)	・平成 28 年度事業報告書案について ・平成 28 年度社会福祉事業収支決算書案について ・平成 28 年度公益事業収支決算書案について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程案について ・三島市社会福祉協議会役員の選任について
平成 29 年 9 月 20 日(水)	・平成 29 年度社会福祉協議会資金収支補正予算書案について
平成 29 年 12 月 19 日(火)	・平成 29 年度社会福祉協議会資金収支補正予算書案について
平成 30 年 3 月 29 日(木)	・平成 29 年度社会福祉協議会資金収支補正予算書案について ・平成 30 年度社会福祉法人三島市社会福祉協議会事業計画案について ・平成 30 年度社会福祉協議会資金収支予算書案について

③監事監査の開催状況

開催日	議題
平成 29 年 5 月 31 日(水)	平成 28 年度事業及び決算の監査
平成 29 年 11 月 8 日(水)	平成 29 年度中間監査

④その他会議の開催状況

開催日	会議名・議題
平成 29 年 9 月 1 日(金)	正・副会長会議 ・三島市社会福祉協議会会長表彰被表彰者の選考について
平成 29 年 10 月 19 日(木)	社会福祉振興基金管理委員会 ・社会福祉振興基金管理委員正副委員長の選出について ・社会福祉振興基金管理の現状と今後の管理について

（２）会費の状況

区分	当年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
住民会費 (1 世帯 200 円)	39,203 件	6,786,820 円	39,635 件	6,688,920 円
団体会費 (1 口 1,000 円以上)	44 件	86,000 円	45 件	88,000 円
賛助会費 (1 口 1,000 円以上)	227 件	397,000 円	216 件	418,000 円
合計	39,474 件	7,269,820 円	39,896 件	7,194,920 円

（３）寄附金の状況

区分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
一般寄附金	法人運営拠点区分	26 件	1,011,616 円	23 件	972,890 円
	えがお拠点区分	5 件	90,000 円	9 件	343,560 円
	さわじ作業所拠点区分	4 件	41,985 円	6 件	173,000 円
	おんすいち拠点区分	2 件	20,000 円	5 件	118,900 円
指定寄附金		0 件	0 円	2 件	1,000,000 円
合計		37 件	1,163,601 円	45 件	2,608,350 円

（４）社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

退職給与積立金は 2 名の退職に伴い 1,512,900 円を取り崩し、年度末必要額まで 8,893,690 円を積み立て 68,577,070 円となり、積立金累計額は 779,494,502 円となりました。

基金等種類	前年度末積立金	本年度積立金(上段) 本年度取崩額(下段)	積立金累計額
社会福祉 振興基金	542,843,383 円	0 円 0 円	542,843,383 円
社会福祉 整備積立金	136,196,713 円	0 円 0 円	136,196,713 円
退職給与 積立金	61,196,280 円	8,893,690 円 1,512,900 円	68,577,070 円
資金運用 積立金	28,648,336 円	0 円 0 円	28,648,336 円
施設整備 積立金	500,000 円	0 円 0 円	500,000 円
車輌購入等 積立金	2,729,000 円	0 円 0 円	2,729,000 円
合計	772,113,712 円	8,893,690 円 1,512,900 円	779,494,502 円

２　地域福祉推進事業

（１）地域福祉活動計画の策定及び周知

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわるために、市町社協が中心となって策定する具体的な活動計画です。

三島市においては、平成 28 年 3 月に「第 3 次三島市地域福祉計画」が策定されました。三島市社協では、この計画との整合を図りながら、第 2 次計画（平成 23 年 3 月策定）の成果や課題を受け継ぎ、多様化するニーズに対応するため、平成 28 年 4 月から平成 32 年 3 月までの 5 か年を計画期間とする「第 3 次地域福祉活動計画」を策定しました。

今年度は、昨年度中心的に周知した地区連合会組織以外の福祉団体・地域住民を対象に講座開催時等に周知しました。また、本会ホームページから地域福祉活動計画概要版をダウンロードできるようにしました。

（２）福祉ニーズの把握

福祉ニーズに基づく活動を進める為、福祉課題等の把握のため下記の調査を行いました。

①成年後見制度に関する実態把握調査

成年後見制度利用に関する潜在的ニーズを把握する為、静岡県社会福祉協議会と協働で、市内福祉施設・事業所（高齢者施設 67 施設、障がい者関係施設 45 施設）に調査を実施しました。

調査項目は、社会福祉施設・事業所職員の成年後見制度に関する研修の状況や利用されている方々における成年後見制度の活用に対するニーズの状況等。

≪対象≫県内の福祉施設・事業所等 3,797 箇所

≪回答≫2,150 箇所（56.7%）

≪調査結果の主なポイント≫

<table>
<tr><td colspan="2">権利擁護が必要な「要支援者」</td><td>22,261 人以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">要支援者の主要な
障がい等累計</td><td>認知症</td><td>12,209 人／54.8%</td></tr>
<tr><td>知的障がい</td><td>5,766 人／25.9%</td></tr>
<tr><td>精神障がい</td><td>1,439 人／ 6.5%</td></tr>
<tr><td>不明</td><td>2,847 人／12.8%</td></tr>
<tr><td colspan="3">［参考］
・身寄り・親族の協力を見込めない　4,853 人
・今後 1～2 年間で申立てが必要と見込まれる　2,456 人
※申立て上、困っている点で最も多いのは、「申立人（親族）の協力を得られない」、次いで「後見人への報酬支払困難」、「申立て費用の工面」と費用面の課題が多くなっています。</td></tr>
</table>

②平田・新谷・玉川地区アンケート調査

三地区を対象とした助け合い・支え合い活動構築に向け、地域の実状を把握する為に各自治会と協働でアンケート調査を実施しました。

<table>
<tr><td colspan="4">平田地区　対象：196 世帯　回答 153 世帯</td></tr>
<tr><td colspan="2">生活での困りごと</td><td colspan="2">手伝ってもいい地域の活動</td></tr>
<tr><td>1 位</td><td>ゴミ出し</td><td>1 位</td><td>話し相手</td></tr>
<tr><td>2 位</td><td>庭の雑草取り</td><td>2 位</td><td>買い物</td></tr>
<tr><td>3 位</td><td>移動手段</td><td>3 位</td><td>ゴミ出し・草木の水やり</td></tr>
</table>

新谷地区　対象：336 世帯　回答 56 世帯			
生活での困りごと		手伝ってもいい地域の活動	
1 位	話し相手	1 位	話し相手
	子育て	2 位	買い物
	買い物・移動手段	3 位	草木の水やり・庭の雑草取り

玉川地区　対象：146 世帯　回答 68 世帯			
生活での困りごと		手伝ってもいい地域の活動	
1 位	ゴミ出し	1 位	ゴミ出し
	庭の雑草取り	2 位	話し相手
3 位	交流できる集いの場	3 位	買い物

③相談窓口及び市民後見人養成講座等に関するアンケート調査

ふれあいまつり来場者を対象に、相談窓口の認知度等を把握する為にアンケート調査を実施しました。集計 175 名。

相談窓口について知っている箇所　※複数回答あり			
市役所	81 名	弁護士	23 名
地域包括支援センター	20 名	司法書士	17 名
社会福祉協議会	30 名	その他	23 名
無回答	25 名		

市民後見人の養成講座の受講について			
受講したい	38 名	わからない	110 名
受講したくない	14 名	無回答	13 名

日常生活の困りごと　※複数回答あり			
ゴミ出し	19 名	布団干し	30 名
話し相手	19 名	電球交換	21 名
調理	17 名	草木の手入れ	42 名
買い物	28 名	銀行の入出金	17 名
消費者被害	19 名	その他	16 名

④ボランティア活動意識調査

ふれあいまつり来場者を対象に、ボランティア活動意識調査を実施しました。集計 231 名。

項目	はい	いいえ	活動中	わからない
ボランティア活動の経験	117 名	106 名	7 名	1 名
今後ボランティア活動をやってみたい	97 名	9 名		107 名

⑤地域行政懇談会におけるニーズ把握

三島市主催の地域行政懇談会に参加。住まいに関する取り組み、超高齢者社会における地域の取り組みをテーマに、参加する市民より出された多くの意見・提案等を把握しました。

各地区とも中心的な話題はゴミ問題で、次いで居場所づくりに関する話題となりました。居場所づくりに関しては、実施場所、利用者の固定化、活動資金等が課題としてあげられました。

開催日	場所	対象
平成 29 年 7 月 28 日（金）	錦田公民館	錦田地区
平成 29 年 8 月 25 日（金）	中郷文化プラザ	中郷地区
平成 29 年 8 月 28 日（月）	三島市社会福祉会館	旧市内地区
平成 29 年 8 月 31 日（木）	北上文化プラザ	北上地区

（３）小地域福祉活動リーダー・福祉の担い手等の養成

地域で見守りや声掛け、介護予防、健康づくり体操等を普及できる人材養成を目的とした地域安心サポーター「レインボー」養成講座の開催をはじめ、住民が地域で主体となって地域福祉活動を進めていけるよう、福祉の担い手養成に取り組みました。

①地域安心サポーター「レインボー」養成講座

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容／講師	参加者
平成 29 年 9 月 2 日（土）	認知症について　コグニサイズ実技 講師：みしま岡クリニック　院長　岡考 氏 （一般参加有り）	130 名
平成 29 年 9 月 5 日（火）	守秘義務について　グループワークほか 講師：原島法律事務所　弁護士　原島年央 氏 協力：民生委員児童委員地域福祉部会ほか	29 名

平成 29 年 9 月 12 日（火）	コミュニケーションスキル、心理学、ワーク実践 講師：中北薬品（株）ﾏﾅｰｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 田代公子 氏	27 名
平成 29 年 9 月 19 日（火）	健康長寿の３要素、健康体操ほか 講師：静岡産業大学　准教授　舘俊樹 氏 講師：健康運動指導士　伊藤美佐緒 氏	25 名
平成 29 年 9 月 26 日（火）	ゲートキーパー養成講座 講師：静岡こころのｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 理事長 丹澤潔 氏	27 名
平成 29 年 10 月 3 日（火）	権利擁護・消費者被害についてほか 講師：三島市地域包括支援センター 講師：三島市市民相談室	28 名

②地域安心サポーター「レインボー」フォローアップ講座

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容／講師	参加者
平成 30 年 3 月 6 日（火）	各活動状況の把握　身体の講義・ストレッチの実技 講師：静岡産業大学　准教授　舘俊樹 氏 講師：健康運動指導士　伊藤美佐緒 氏	14 名

③住民主体の助け合い勉強会～市内に居場所、生活支援サービスを広げるために～

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容／講師	参加者
平成 30 年 3 月 2 日（金）	基調講演「地域に助け合いの活動を広げよう」 講師：全国ｺﾐｭﾆﾃｨﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 理事長 池田昌弘 氏 ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために」 助言：全国ｺﾐｭﾆﾃｨﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 理事長 池田昌弘 氏 パネラー：光ヶ丘１丁目町内会 会長 湯川眞悟 氏 パネラー：三島パサディナ自治会 会長 吉田功 氏	77 名

（４）生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、第２層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

①三島市及び第１層生活支援コーディネーターとの打合せ会

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容／検討事項
平成 29 年 4 月 13 日（木）	・第１層活動報告 ・第１層活動予定 ・第２層活動報告 ・第２層活動予定 ・新しい地域支援を考えるフォーラムについて ・目指す地域像を考える勉強会について ・健幸マップ作成について ・第１回地域像を考える勉強会 ・市内４地区地域像を考える勉強会について　他
平成 29 年 5 月 11 日（木）	
平成 29 年 6 月 19 日（月）	
平成 29 年 7 月 13 日（木）	
平成 29 年 7 月 20 日（木）	
平成 29 年 8 月 24 日（木）	
平成 29 年 9 月 8 日（金）	
平成 29 年 9 月 22 日（金）	
平成 29 年 10 月 2 日（月）	
平成 29 年 10 月 27 日（金）	
平成 29 年 11 月 10 日（金）	
平成 29 年 11 月 27 日（月）	
平成 29 年 12 月 20 日（水）	
平成 30 年 1 月 19 日（金）	
平成 30 年 2 月 16 日（金）	
平成 30 年 3 月 23 日（金）	

②新しい地域支援を考えるフォーラムの開催

主催：フォーラム実行委員会・三島市・三島市社会福祉協議会の３者主催

開催場所：三島市生涯学習センター

開催日	内容／講師	参加者
平成 29 年 12 月 19 日(火)	基調講演「地域で自分の力を活かす」 講師：さわやか福祉財団　会長　堀田力氏 活動事例発表及びパネルディスカッション ・旭ヶ丘ｶﾌｪ・なかよし体操活動報告 発表者：宮川紀代美 氏 ・芙蓉台自治会高齢者支援の仕組みづくり 発表者：冨澤隆雄 ・第２層生活支援コーディネーター活動報告 発表者：三島市社会福祉協議会職員	158 名
上記開催に伴うフォーラム実行委員会に下記のとおり参加。 開催場所：三島市役所 開 催 日：平成 29 年 8 月 25 日（金）／平成 29 年 10 月 6 日（金） 平成 29 年 12 月 4 日（月）／平成 30 年 1 月 16 日（火）		

③めざす地域像を考える勉強会の開催

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容	参加者
平成30年1月30日(火)	「新しい地域支援を考えるフォーラム」の参加者を対象に、自分の住む地域を見つめ直すワークショップを実施。	82名

④地域コミュニティ連絡会への参加

地域の活動団体、社会資源の把握等を目的に、下記日程の対象校区へ参加。

開催日（時間：19：00～21：00）		対象小学校区
前期	後期	
平成29年5月23日（火）	平成29年10月10日（火）	錦田小学校区
平成29年5月26日（金）	平成29年11月16日（木）	向山小学校区
平成29年6月2日（金）	平成29年10月11日（水）	沢地小学校区
平成29年6月5日（月）	平成29年10月2日（月）	山田小学校区
平成29年6月8日（木）	平成29年10月20日（金）	北小学校区
平成29年6月12日（月）	平成29年10月30日（月）	南小学校区
平成29年6月30日（金）	平成29年10月12日（木）	坂小学校区
平成29年7月4日（火）	平成29年11月7日（火）	中郷小学校区
平成29年7月11日（火）	平成29年11月14日（火）	長伏小学校区
平成29年7月18日（火）	平成29年11月24日（金）	徳倉小学校区
平成29年7月21日（金）	平成29年12月13日（水）	佐野小学校区
平成29年7月27日（木）	平成29年12月14日（木）	北上小学校区

⑤健幸マップの作成

旧健幸マップ掲載箇所及び社会福祉協議会に登録された居場所・サロン等から掲載箇所の候補を選定。候補者に趣旨を説明して掲載許可を頂く中で、内容の調査を行い、健康・生きがい・交流づくりを行っている団体等の情報をまとめた健幸マップを作成しました。

（５）居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続のための支援に取り組みました。

①居場所・サロン登録状況

平成 28 年度に民生委員児童委員協議会や市の協力を得て市内 228 か所の居場所・サロン等を把握。このうち、対象者を制限しない、特定の趣味に偏らない、安価な利用料の居場所・サロンで、三島市社会福祉協議会にご登録頂いた団体と、その後追加登録頂いた団体は、合わせて 34 団体となっています。

No.	名称	地区	
1	サロン遊友	北上	佐野見晴台
2	ちいきや・朝ごはん食堂	北上	富士ビレッジ
3	木曜サロン	北上	徳倉
4	歩歩笑サロン	北上	光ヶ丘
5	コミュニティサロン「ほっとカフェ」	北上	富士ビレッジ
6	介護予防カトレア体操	北上	芙蓉台
7	芙蓉台自治会居場所	北上	芙蓉台
8	歌声喫茶たまりば・かど	北上	富士ビレッジ
9	コミュニティスペース・ジモット	北上	徳倉
10	シャルマンカフェ	旧市内	加茂川町
11	サロン大宮	旧市内	大宮町
12	さくらサロン	旧市内	加茂
13	南二日町サロン	旧市内	南二日町
14	コミュニティカフェ“悠遊”	旧市内	若松町
15	ひなたぼっこの会	旧市内	大社町
16	にこにこ会	旧市内	南田町
17	みんなのえがおおたまちゃん食堂	旧市内	大社町・南本町
18	Welcome サロン三恵台	錦田	三恵台
19	すずめの会	錦田	谷田
20	旭ヶ丘なかよし体操	錦田	旭ヶ丘
21	旭ヶ丘カフェ	錦田	旭ヶ丘
22	初音台夏すみれ	錦田	初音台
23	玉沢健康体操“弥生”	錦田	玉沢
24	喜楽会	錦田	谷田
25	すこやかサロン	錦田	谷田
26	ひだまりの会	錦田	中
27	中福祉会健幸サロン	錦田	中
28	交流喫茶なみき	錦田	並木
29	三島子育て学習サポート寺子屋	中郷	谷田
30	東大場図書館＆喫茶	中郷	東大場

31	中郷はつらつクラブ	中郷	梅名
32	パサディナ自治会コミュニティ活動	中郷	パサディナ
33	新谷コミュニティカフェ“花笑み”	中郷	新谷
34	サロン松本	中郷	松本

②居場所・サロン連絡会

居場所・サロンの連携、情報交換、共有等を図るため、連絡会を開催しました。

開催場所：三島市社会福祉会館

開催日	内容	参加者
平成 29 年 9 月 14 日（木）	ワールドカフェ、ＤＫエルダーシステムの説明	28 団体 39 名
平成 30 年 3 月 13 日（火）	健康長寿の 3 要素（栄養、食生活）の講義、グループワークの実施	19 団体 26 名

③身近な地域の居場所づくり助成事業

住民が主体となって運営する身近な地域の居場所づくりを行う団体を対象に、居場所の開設・運営に必要な経費を年間開所日数に応じて助成。また、世代間交流を行う団体に対して 1 万円を限度に助成しました。

名称	開所日数	世代間交流	助成額
芙蓉台自治会居場所	11	○	20,000 円
すこやかサロン	12	○	20,000 円
さくらサロン	47	×	25,000 円
にこにこ会	12	○	20,000 円
中福祉会健幸サロン	24	×	15,000 円
三島子育て学習サポート寺子屋	80	○	40,000 円
ひなたぼっこの会	24	×	15,000 円
歩歩笑サロン	9	○	15,000 円
初音台夏すみれ	22	×	15,000 円
東大場図書館＆喫茶	120	○	40,000 円
ちいきや・朝ごはん食堂	51	○	40,000 円
サロン大宮	12	○	20,000 円
サロン松本	24	○	25,000 円
合計 13 団体（世代間交流あり 9 団体）			310,000 円

④その他

随時寄せられる「立ち上げ」、「運営等」に関する相談に対応しました。また、運営資金等の相談が多いことから、居場所等を対象とした各種助成金情報をまとめた資料を作成して配布したほか、各種助成金を受けるために規約が必要となるため、規約モデルを作成して配布しました。

その他、利用者拡大に伴うチラシの校正補助、各居場所・サロン等に対応できるボランティアや社会貢献活動をする企業等を紹介しました。

（６）芙蓉台地区モデル事業住民参加型在宅福祉サービスおたがいさまサービス事業

「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」の実現にむけ、地域福祉の原点である住民主体の原則にもとづき、福祉制度では対応できない生活課題を住民主体で解決できるように、サービスを利用する方も提供する方も住民の、“住民参加型在宅福祉サービス”のモデル地区を芙蓉台に選定して平成 29 年 10 月 1 日より実施しました。

登録状況・活動実績

利用会員	協力会員	活動件数	内容
5 名	8 名	20 件 (660 分)	買い物・通院時の 付き添い

（７）平田・新谷・玉川地区における助け合い・支え合い活動推進に向けた取り組み

あかなすの里（玉川）は、施設開設以来、平田・新谷・玉川地区と施設行事等を通して交流を深めていますが、施設の一部を地域に利用してもらえるように開放していきたいとの意向があることから、三地区の自治会長をはじめ、あかなすの里施設長、第１層生活支援コーディネーター、静岡県社協、三島市社協とで懇談会を開催し、住民アンケートを実施するなどの取り組みを進めてきました。

平成 30 年度は、アンケート結果をもとに地域住民を対象とした勉強会を開催する予定です。

開催日	内容
平成 29 年 11 月 30 日	懇談会開催
平成 29 年 12 月 30 日	懇談会開催
平成 30 年 2 月 1 日 ～2 月 28 日	住民アンケートの実施
平成 30 年 3 月 6 日	懇談会でアンケート途中経過を報告
平成 30 年 3 月 末	自治会長にアンケート結果を報告 併せて住民への周知を依頼

（８）光ヶ丘県営住宅空き住居を利用した居場所・サロンの立ち上げ

市内でもトップクラスの高齢化率である光ヶ丘地区。この地区の福祉ニーズを解決していく一つの手段として、光ヶ丘県営住宅空き住居を利用した居場所・サロンの立ち上げに向け、県住宅供給公社及び静岡県沼津土木事務所、県営住宅光ヶ丘の住民で懇談会を開催し、住民アンケートを実施するなどの取り組みを進め、平成 30 年 4 月 18 日から 9 棟 101 号室を活用した居場所が開設されることとなりました。

開催日	内容
平成 29 年 12 月 6 日	懇談会開催
平成 30 年 1 月 10 日 ～1 月 17 日	住民アンケートの実施
平成 30 年 2 月 13 日	沼津土木事務所に使用許可申請と企画書を提出
平成 30 年 3 月 25 日	自治会が居場所の開設を承認
平成 30 年 4 月 18 日	9 棟 101 号室で居場所を開設

（９）その他、地域福祉推進に向けた取り組み

①地域ケア会議への参加

開催日	主催	会議テーマ
平成 29 年 7 月 12 日（水）	中郷地区地域包括支援センター	生活困窮ケース
平成 29 年 12 月 12 日（火）	北上地区地域包括支援センター	北上地区での困りごと

②講師派遣事業

地域福祉の振興・向上に資するため本会職員を講師として派遣しました。

開催日	対象	内容
平成 29 年 4 月 19 日（水）	中郷西地区民生委員児童委員協議会　20 名	三島市社会福祉協議会の取り組み、居場所づくりほか
平成 29 年 7 月 14 日（金）	民生委員児童委員協議会地域福祉部会　30 名	居場所づくりに関する事業について
平成 29 年 9 月 26 日（火）	錦田地区民生委員児童委員協議会　38 名	認知症について
平成 29 年 10 月 8 日（日）	富士ビレッジ町内住民　25 名	認知症について
平成 29 年 10 月 31 日（火）	健康いきいき講座受講者　30 名	権利擁護の視点から見たお金の扱い方

平成29年11月29日(水)	夏梅木地区住民 35名	居場所づくりについて
平成29年12月11日(月)	介護予防・体操ｻﾎﾟｰﾀｰ 養成講座受講者　28名	居場所づくりについて
平成29年12月14日(木)	錦田地区民生委員児童 委員協議会　　39名	相談技法・傾聴について
平成30年3月14日(水)	中部地区民生委員児童 委員協議会　　17名	相談技法・傾聴について

３　ボランティアセンター事業

（１）ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティアとボランティアを求める側の関係調整、福祉ニーズに応じた講座の開催、新たなボランティアグループの立ち上げ、社会貢献に取り組む企業の支援などを行いました。

①主なコーディネート内容

・市内視覚障がい者を対象とした広報みしま等の点訳・音訳
・選挙開票時の点字判読者派遣
・録音図書作成時の日本文藝家協会への著作物使用許諾申請
・福祉施設等イベント時のボランティア募集及び派遣
・ボランティア活動希望者への活動先斡旋　ほか

②ボランティア入門講座「レッツ！ボランティア体験！！」

今後の社会を担っていく子どもを中心に、ボランティア等の体験を通して広く社会福祉全般についての意識を高めてもらうために開催。

今年度は、地域で運営されている居場所について学んでもらったほか、居場所スタッフとして活動するボランティア体験を実施しました。

開催日	場所	内容	参加者
平成29年 8月1日（火）	社会福祉会館	ボランティア活動について 居場所について	小学生 16名
平成29年 8月2日（水）	新谷コミュニティ カフェ“花笑み”	居場所でのボランティア体験	小学生 17名

③将棋ボランティア「一七の会」

地域で生活している高齢者等と将棋の対戦相手をするボランティアとして平成 27 年 11 月 17 日に立ち上げ、以降、当会で活動のコーディネートを行っています。また、従来の活動のほかに世代間交流を含めた将棋教室も開催しています。

活動回数：195 回　活動先：市内高齢者宅、福祉施設ほか

	開催日	参加者
将棋教室	平成 29 年 8 月 3 日（木）	25 名
	平成 30 年 1 月 6 日（土）	28 名
	平成 30 年 3 月 27 日（火）	20 名

④万年筆で書く手紙教室

社会貢献に取り組む企業、株式会社パイロットコーポレーションとのコラボ事業として実施。高齢者の余暇支援、人とつながるきっかけづくりを目的に、万年筆で書いた手紙を他市町の 60 歳以上の方とやりとりする全 3 回の講座を開催しました。

開催日：平成 29 年 10 月 17・24・31 日の 3 日間　参加者：11 名

⑤三島市ボランティア連絡協議会の事務局

ボランティア活動の推進や会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される約 130 名の組織の事務局を担い、研修会の開催、他市町で活動するボランティアとの交流、施設行事の手伝い等を行いました。また、年間の活動費として助成金 150,000 円を交付しました。

（２）ボランティアの登録状況

効果的な情報発信とボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受け付けを行いました。

登録グループ 85 件、個人登録 83 名。（平成 30 年 3 月 31 日現在）

活動内容		登録数
グループ	高齢者に関わる活動	12 件
	障害者等に関わる活動	12 件
	児童、子育てに関わる活動	16 件
	災害時に関わる活動	7 件
	環境に関わる活動	22 件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	9 件
	その他の活動	7 件
	計	85 件
個人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	83 名

（３）ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内容	加入数	保険料総額
ボランティア活動保険	ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を補償	1,237 名	484,830 円
ボランティア行事用保険	地域福祉活動等の行事における主催者や参加者のケガ等を補償	262 行事	219,072 円
福祉サービス総合補償	在宅・地域福祉サービス中の活動従事者のケガや団体・グループの賠償責任を補償	4 団体	216,768 円

※上記加入者への事故対応 2 件

（４）ボランティアグループ等事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動や児童青少年健全育成に取り組む団体が実施する事業について、経費の一部を補助しました。

①ボランティアグループ事業費補助

グループ名	事業名	補助額
三島市人権擁護委員会	人権意識の普及	18,000 円
音訳サークル「アイ・あい」	視覚障がい者への情報提供	50,000 円
録音グループ「やまなみ」	伊豆文学賞受賞作品音訳事業	7,000 円
惠の会	施設慰問活動	20,000 円
三島手話サークルよつば友の会	夏休み手話教室	20,000 円
三島「親育ち」を応援する会	講演会「イライラママからしなやかママへ:怒りとストレスのコントロール」	37,000 円
三島市更生保護女性会	更生・矯正施設への訪問	17,000 円
ヨリモト＆フレンドリーパーティ	福祉施設訪問活動	31,000 円
要約筆記サークル「OHPみしま」	中途失聴・難聴者の自立支援	100,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	災害VCの実践力強化と関連NPOとの連携強化事業	75,000 円
ハートフルケアとまり木	認知症の方とのコミュニケーション方法	70,000 円
ラジヨガ7	高齢者の転倒防止と認知症予防	37,000 円
介護予防カトレア体操	介護予防カトレア体操教室	30,000 円
合計　13 団体		512,000 円

②児童青少年健全育成団体事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ボーイスカウト三島地区	児童青少年の健全育成	60,000 円
三島市子ども会連合会JLわかば	わかば事前･事後研修会	22,000 円
ガールスカウト三島地区連絡協議会	1日スカウト	22,000 円
合計　3 団体		104,000 円

（５）災害ボランティアの振興

「三島市地域防災計画」において、災害時には市と社会福祉協議会が連携して、災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティア本部を設置することになっています。この災害ボランティア本部の円滑な運営と的確な被災者支援を図るため、各種事業に取り組みました。

①災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時のボランティア活動が円滑に行われるように、ボランティアの受入れや活動先の調整など、災害ボランティア活動の中核的な役割を担う「災害ボランティアコーディネーター」の養成を目的に開催しました。

開催日：平成 29 年 11 月 18 日（土)、19 日（日）　受講者：6 名

講師：静岡県危機管理局、三島市危機管理課、三島市社協職員ほか

②災害ボランティア本部運営マニュアルの策定

既存の「災害ボランティア本部立ち上げマニュアル」を基に、市危機管理課及び災害ボランティアコーディネーター三島の会員と協議を重ね、より一層三島市との連携を強化した「災害ボランティア本部運営マニュアル」を策定しました。

４　福祉教育事業

（１）講師連絡会の発足・開催

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティアに講師としてご登録いただき、福祉教育プログラム等の検討を行う講師連絡会を発足しました。

①講師連絡会構成員

構成員	人数
視覚障がい者（盲導犬ユーザー）	1 名
聴覚障がい者（手話講師）	1 名

重複障がい者（身体・視覚）	1名
当事者家族	1名
ボランティア活動者（点字ボランティア）	1名
ボランティア活動者（要約筆記サークル）	1名
合計	6名

②講師連絡会開催状況

開催日	協議事項
平成30年 3月27日(火)	福祉教育のねらい、講義内容の確認、講師謝礼、福祉教育メニューについて

（２）福祉啓発の実施

福祉啓発プログラムの一環として、学校、企業、団体等の依頼に基づき、福祉啓発講座・教室を実施しました。

開催日	内容	対象
平成29年 10月25日(水)	聴覚障がい者の歴史 講師：中川みゆき 氏	中部地区民生委員児童委員協議会 16名
平成29年 11月21日(火)	視覚障がい及び盲導犬について 講師：杉山典行 氏	沢地小学校5年生 52名
平成29年 11月28日(火)	車椅子介助方法について 講師：本会職員	沢地小学校5年生 52名
平成29年 11月29日(水)	バリアフリー教室 ※中部運輸局静岡運輸支局と共催。 社協は､視覚障がい者の誘導方法､車椅子の介助方法を担当。	中郷小学校4年生 66名
平成29年 12月6日（水）	視覚障がい及び盲導犬について 講師：杉山典行 氏	北小学校3年生 108名
平成29年 12月13日(水)	聴覚障がい及び手話について 講師：中川みゆき 氏 点字について 講師：すぎなの会	北小学校3年生 108名

※その他、沢地小学校5年生の質問事項(福祉体験を通して深く知りたいと思った事柄)に対して、当事者やボランティア、関係機関と連絡を取り回答しました。

５　広報啓発事業

（１）社協だより「はつらつ」の発行

社協の事業活動の紹介や福祉関係情報などを住民に周知する広報紙として、関係機関と情報面での連携を図り、福祉情報を効果的に提供できるように年５回発行しました。（5 月／№90、7 月／№91、10 月／№92、12 月／№93、2 月／№94）

（２）ホームページの運営

本会の事業活動、各種福祉サービス・情報等を広く紹介すると共に、本会への理解をより深めていただけるように努めました。

（３）社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識の高揚を図りました。また、より多くの住民に、福祉について考え理解してもらうきっかけづくりとして、ドキュメンタリー映画「私はマララ」を記念上映しました。

開催日：平成 29 年 10 月 23 日（月）　会場：三島市民文化会館小ホール

被表彰者：三島市社会福祉協議会会長表彰 33 名・3 団体

三島市社会福祉協議会会長感謝状 1 名・8 団体

（４）児童福祉月間、老人福祉月間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童・高齢者福祉の理念の普及・啓発の為、市内各所にポスターを掲示しました。また、三島市が実施する障がい者週間に合わせて、市内各所にのぼり旗を設置しました。

６　福祉総合相談事業

（１）相談事業の実施状況

住民の暮らしの中のあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に本事業を実施しました。

区分	件数	区分	件数
生計	271 件	財産	7 件
年金	14 件	事故	0 件
職業・生業	50 件	児童	23 件
住宅	18 件	教育・青少年	29 件

家族	25 件	障がい者	143 件
結婚・離婚	5 件	母子・父子	23 件
ボランティア	106 件	高齢者	268 件
健康・衛生	14 件	苦情	8 件
医療	46 件	日常生活自立支援事業	109 件
精神保健	34 件	成年後見制度	83 件
人権・法律	15 件	その他	49 件
合計　1340 件			

7　権利擁護事業

（1）日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行いました。

①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合計
29 件	946 件	975 件

【主な相談援助内容】

・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い
・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助
・大切な書類や印鑑等の保管　ほか

②契約件数等の内訳

区分	新規申請	決定	却下	解約	契約
認知症高齢者	4 件	2 件	2 件	3 件	7 件
知的障がい者	1 件	1 件	0 件	0 件	6 件
精神障がい者	1 件	1 件	0 件	0 件	2 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	6 件	4 件	2 件	3 件	15 件

・却下案件は、成年後見制度の利用支援を実施
・解約理由は、死亡 1 件、施設等入所 0 件、成年後見移行 1 件、本人申出 1 件
・契約件数は、平成 30 年 3 月 31 日現在

③生活支援員の配置

契約内容にそって定期的に訪問する生活支援員を 7 名配置。生活支援員の資質向上と支援における悩み等に応じるため研修会を実施しました。

開催日	内容
平成 30 年 3 月 28 日（水）	個別ケースが抱える課題等についての協議及び研修

（２）成年後見事業の実施

成年後見制度は、認知症や知的・精神等の障がいにより判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度です。

本会では、財産管理及び身上監護に関する契約などの法律行為全般を行う法人後見の実施をはじめ、市民後見人等の育成・活用のための体制づくり、地域連携ネットワークおよび中核機関の構築にむけた関係機関との連携や成年後見制度が住民に認知してもらえるよう、啓発活動等を行いました。

①法人後見業務

法人後見業務の実施にあたり、定款及び要綱等を整備し、受任調整等を行う成年後見運営員会を発足。平成 29 年 9 月 13 日に家庭裁判所へ体制が整ったことを報告し、以降、受任依頼ケースに対応しています。

・成年後見運営委員会構成員

選出区分	所属	人数	備考
法律関係者	静岡県弁護士会	1 名	委員長
医療関係者	三島市医師会	1 名	副委員長
学識経験者	地域包括支援センター	1 名	委員
法律関係者	成年後見ｾﾝﾀｰﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部	1 名	委員
福祉関係者	静岡県社会福祉士会	1 名	委員
行政関係者	三島市障がい福祉課	1 名	委員
その他	三島市障がいとくらしを支える協議会	1 名	委員

・成年後見運営委員会開催状況

開催日		内容
第 1 回	平成 29 年 5 月 17 日（水）	成年後見運営委員会について 委嘱状交付

第 2 回	平成 29 年 6 月 27 日（火）	実施規定について
第 3 回	平成 29 年 7 月 13 日（木）	実施規定にについて 受任マニュアルについて
第 4 回	平成 29 年 9 月 14 日（木）	家庭裁判所への報告について リレー方式、ネットワーク勉強会ほかについて
臨時	平成 29 年 10 月 12 日（木）	受任依頼ケースの検討について
第 5 回	平成 29 年 11 月 16 日（木）	受任依頼ケースの検討について ネットワーク勉強会について
臨時	平成 29 年 12 月 18 日（月）	受任依頼ケースの検討について
第 6 回	平成 30 年 1 月 11 日（木）	受任依頼ケースの検討について ネットワーク勉強会について
臨時	平成 30 年 2 月 19 日（月）	受任依頼ケースの検討について
臨時	平成 30 年 3 月 5 日（月）	受任依頼ケースの検討について 市民後見養成講座について

・法人後見受任状況

後見類型			受任件数
後見	保佐	補助	
4 件	1 件	0 件	5 件

・職員研修

開催日	内容	受講職員
平成 29 年 6 月 20 日（火）	成年後見制度の概要 講師：司法書士　鈴木信宏 氏	5 名

②権利擁護（地域連携ネットワーク・中核機関）勉強会

開催日	内容	参加者
平成 29 年 12 月 11 日（月）	後見ニーズの把握 講師：野村総合研究所　尾川宏豪 氏	6 名

③成年後見ネットワーク勉強会

支援の必要な人の発見・相談・支援を効果的に行うため、関係機関によるネットワーク勉強会を開催しました。

開催日／参加者	内容
平成 30 年 2 月 3 日（土） 参加者：83 名	東部の成年後見の実状（講演） 講師：静岡家庭裁判所家事訟廷管理官 服部康治 氏 静岡家庭裁判所沼津支部主任書記官 戸塚聡勇 氏 発見から選任まで（パネルディスカッション） 進　行：ﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部 井上尚人 氏 登壇者：三島市介護支援専門員連絡協議会 岩田正徳 氏 三島信用金庫 長澤紀之 氏 三島市生活支援センター 高田佐和子 氏 三島市障がいと暮らしを支える協議会山田龍宏 氏 三島市地域包括支援室認知症初期集中支援ﾁｰﾑ神戸幸代 氏 三島市障がい福祉課 青木聡 氏 三島市長寿介護課 田代優子 氏 三島市医師会広小路クリニック 木野紀 氏 静岡県弁護士会 土屋賢太郎 氏 ﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部 鈴木信宏 氏 静岡県社会福祉士会ぱあとな静岡 番場俊文 氏 ｺｽﾓｽ成年後見ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ静岡県支部 足立裕明 氏

④成年後見制度啓発講演会

開催日	内容	参加者
平成 29 年 9 月 9 日（土）	学べる成年後見制度 講師：お笑い福祉士 河合孝彦 氏 講師：司法書士 杉橋聡 氏	60 名

⑤司法書士権利擁護相談

リーガルサポート静岡支部の協力を得て、司法書士による無料相談会を開催しました。（完全予約制／原則 1 件の相談につき 30 分）

相談日	相談件数	
	予約	実施
平成 29 年 7 月 19 日（水）	9 件	6 件
平成 29 年 8 月 16 日（水）	5 件	4 件
平成 29 年 9 月 20 日（水）	4 件	4 件

平成 29 年 10 月 18 日（水）	3 件	3 件
平成 29 年 11 月 15 日（水）	3 件	2 件
平成 29 年 12 月 20 日（水）	4 件	3 件
平成 30 年 1 月 17 日（水）	0 件	1 件
平成 30 年 2 月 21 日（水）	0 件	0 件
平成 30 年 3 月 22 日（木）	2 件	2 件

⑥弁護士権利擁護相談

静岡県弁護士会の協力を得て、弁護士による無料相談会を開催しました。

（完全予約制／原則 1 件の相談につき 30 分）

相談日	相談件数	
	予約	実施
平成 30 年 2 月 7 日（水）	2 件	2 件
平成 30 年 3 月 7 日（水）	0 件	0 件

⑦成年後見出前講座

団体等（5 人以上）の依頼に基づき、本会職員による出前講座を実施しました。

開催日	対象	内容
平成 29 年 7 月 14 日（金）	民生委員児童委員協議会地域福祉部会　30 名	成年後見事業について
平成 30 年 2 月 20 日（火）	北地区民生委員児童委員協議会　20 名	成年後見制度について
平成 30 年 3 月 16 日（金）	中郷東・西地区民生委員児童委員協議会　42 名	成年後見事業について

８　セーフティーネット事業

（１）生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

①相談活動状況

項目	件数
貸付相談	148 件
償還相談	13 件
その他、経済的等生活困窮に係る相談	205 件
訪問状況	51 件
民生委員との連絡調整	28 件
連携（連絡調整）した機関※生活支援センター、福祉事務所ほか	226 件
合計	671 件

②貸付件数

項目	件数	貸付額	備考
福祉資金	3 件	916,946 円	技能習得、転宅費
教育支援資金	1 件	716,000 円	就学支度・教育支援費
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	
緊急小口資金	6 件	570,000 円	初回給料までのつなぎ
総合支援資金	0 件	0 円	
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	
合計	10 件	2,202,946 円	

（２）生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方への支援として、年 1 回 10,000 円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくにより取り寄せた食糧や住民からいただいた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援
19 件（交付総額 190,000 円）	119 件

（３）歳末見舞金の贈呈

年末年始に、経済的に支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の善意から成り立つ歳末たすけあい募金を活用し、民生委員・児童委員の協力を得て見舞金を贈呈しました。

世帯数							世帯数計	贈呈総額
1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人		
30 件	37 件	36 件	22 件	9 件	1 件	3 件	138 件	1,572,000 円

・見舞金は 1 人世帯 8,000 円、世帯内に 1 人増えるごとに 2,000 円増

９　指定事業所の運営

（１）介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」「訪問介護（予防訪問介護）」のサービス、また、介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型（独自/定率）」「訪問型（みなし）」のサービス、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

①従事者数内訳（平成 30 年 3 月 31 日現在）

職種	常勤	非常勤	登録	計
介護支援専門員	2 名	1 名	0 名	3 名
ホームヘルパー	2 名	8 名	1 名	11 名
合計	4 名	9 名	1 名	14 名

②介護保険事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	315 件	17,051,300 円	1,917,080 円	18,968,380 円
訪問（公費分）	33 件	433,130 円	0 円	433,130 円
予防訪問介護	233 件	4,576,590 円	499,622 円	5,076,212 円
予防（公費分）	46 件	80,863 円	0 円	80,863 円
訪問型（独自/定率）	150 件	1,774,277 円	212,142 円	1,986,419 円
（独自/定率）（公費分）	17 件	23,667 円	0 円	23,667 円
訪問型（みなし）	102 件	2,308,838 円	196,953 円	2,505,791 円
（みなし）（公費分）	20 件	42,912 円	0 円	42,912 円
居宅介護支援	652 件	7,825,984 円	0 円	7,825,984 円
予防計画作成	444 件	1,834,414 円	0 円	1,834,414 円
合計	2,012 件	35,951,975 円	2,825,797 円	38,777,772 円

③障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	323 件	12,270,037 円	133,797 円	12,403,834 円
重度訪問介護	0 件	0 円	0 円	0 円
合計	323 件	12,270,037 円	133,797 円	12,403,834 円

（２）障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努めるとともに、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所及び就労継続Ｂ型事業を運営しました。

①運営施設の概要

ア．指定生活介護事業所えがお(所在地:新谷 190-2　定員：40 名)

作業内容	自主作業	ｸｯｷｰ・ﾊﾟｳﾝﾄﾞｹｰｷ作り、ｼﾞｬﾑ作り、着物ﾘｻｲｸﾙ、ｱﾙﾐ缶・古紙・廃油ﾘｻｲｸﾙ回収、作物栽培、縫製品、紙すき、ﾋﾞｰｽﾞ製品
	下請作業	ｳｯﾄﾞﾁｬｰﾑ型抜き、ﾁﾗｼ折り
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
	その他	ﾌﾟｰﾙ、ｸﾘｽﾏｽ会、宿泊訓練、防災訓練、他施設・学校等の交流会、希望外出、地域ｲﾍﾞﾝﾄ参加、音楽療法、園芸療法、運動療法、地域清掃、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ交流会ほか

イ．指定就労継続支援Ｂ型事業所さわじ作業所(所在地:沢地 246-11　定員:20 名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品（黄色いﾊﾝｶﾁ)、ｱﾙﾐ缶・古紙・廃油ﾘｻｲｸﾙ回収、ﾚｰｻﾞｰ加工製品、缶ﾊﾞｯｼﾞ、清掃業務（体育館・保健ｾﾝﾀｰ)、共同店舗運営、UV ﾌﾟﾘﾝﾄ加工
	下請作業	ﾁﾗｼ束ね、しおり作り、ﾊﾞﾝﾄﾞ巻、ｳｯﾄﾞﾁｬｰﾑ加工、近隣観光施設用製品作り
生活指導内容	就労訓練	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
	その他	機能訓練、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ交流会、防災訓練、宿泊訓練、自主活動、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流

ウ．指定生活介護事業所おんすいち(所在地:富田町 3-19　定員：20 名)

作業内容	自主作業	ﾋﾞｰｽﾞ製品（ﾈｯｸﾚｽ・ﾌﾞﾚｽﾚｯﾄ・携帯ｽﾄﾗｯﾌﾟ）、野菜作り、縫製品、ﾘｻｲｸﾙ回収、ｸｯｷｰ・ｼﾞｬﾑ作り
	下請作業	
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣（食事・排泄・歯磨き・着脱等）の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上（ｽﾎﾟｰﾂ、ﾌﾟｰﾙ、歩行訓練等）ほか
	その他	防災訓練、工場見学、宿泊訓練、買物訓練、希望外出、手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
20 歳未満	1 名	2 名	2 名	0 名	0 名	0 名	5 名
20～29 歳	7 名	5 名	3 名	3 名	4 名	5 名	27 名
30～39 歳	4 名	7 名	3 名	3 名	6 名	3 名	26 名
40～49 歳	5 名	3 名	3 名	4 名	3 名	0 名	18 名
50～59 歳	3 名	3 名	2 名	0 名	0 名	0 名	8 名
60 歳以上	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名
合計	21 名	20 名	14 名	10 名	13 名	8 名	86 名
	41 名		24 名		21 名		

③障がい別利用者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
知的障がい	8 名	11 名	12 名	10 名	11 名	6 名	58 名
身体障がい	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名
重複障がい	12 名	9 名	1 名	0 名	2 名	2 名	26 名
合計	21 名	20 名	14 名	10 名	13 名	8 名	86 名

④開所日数及び利用者数

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち	
	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
4 月	19 日	42 名	19 日	24 名	19 日	21 名
5 月	20 日	42 名	19 日	24 名	20 日	21 名
6 月	22 日	42 名	23 日	24 名	22 日	21 名
7 月	20 日	42 名	20 日	24 名	20 日	21 名
8 月	21 日	42 名	21 日	24 名	21 日	21 名
9 月	20 日	42 名	20 日	24 名	20 日	21 名
10 月	21 日	41 名	21 日	24 名	21 日	21 名
11 月	20 日	40 名	20 日	24 名	20 日	21 名
12 月	19 日	40 名	20 日	24 名	19 日	21 名
1 月	19 日	40 名	19 日	24 名	19 日	21 名
2 月	19 日	40 名	19 日	23 名	19 日	21 名
3 月	20 日	41 名	20 日	23 名	20 日	21 名
合計	240 日	494 名	241 日	286 名	240 日	252 名

⑤利用者工賃概要

区分	当年度		前年度	
	総額	1 人当たり/月	総額	1 人当たり/月
えがお	2,523,611 円	5,129 円	2,622,775 円	5,319 円
さわじ作業所	4,506,434 円	19,018 円	4,862,892 円	20,762 円
おんすいち	978,839 円	3,884 円	970,612 円	3,370 円

⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	494 件	85,353,022 円
さわじ作業所	就労継続支援Ｂ型(通所)	288 件	39,539,874 円
おんすいち	生活介護(通所)	252 件	35,241,380 円
合計		1,034 件	160,134,276 円

１０　受託施設の運営

（１）社会福祉会館の運営（指定管理）

社会福祉会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深めその育成発展を図るために昭和 49 年 7 月に建設されました。この管理運営を三島市から指定管理者として受託し、福祉活動の場を提供し市民の活動拠点として有効に活用していただきました。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 343 日　1 日平均 70.7 人

利用種別	利用回数	利用人数
民生委員関係	94 回	1,227 人
身体障がい者関係	436 回	6,221 人
老人福祉関係	177 回	3,679 人
児童福祉関係	19 回	775 人
更生保護関係	60 回	1,370 人
社会福祉協議会関係	273 回	2,918 人
その他	319 回	8,071 人
合計	1,378 回	24,261 人

② トイレのドアノブ等改修

各階トイレの旧式のドアノブを棒ハンドル型のドアノブに改修するなど、会館利用者の利便性の向上を図りバリアフリー化を推進しました。

（２）老人福祉センターの運営（指定管理）

平成 18 年度から老人福祉センターの指定管理者となり、施設の適切な管理と運営に努めてきました。老人福祉センターの目的を果たすべく、利用者が生きがいを持ち、仲間づくりのできる心身の健康づくりの場の提供に努め、老人クラブとの連携協力のもと、各種講座・教室等を開催し高齢者の健康増進、教養の向上・リクレエーションの場として次のように利用してまいりました。

① 開館日数及び年間利用の状況

・開館日数 291 日　1 日平均 244 人

団体利用者	個人利用者	合計
8,510 人	62,417 人	70,927 人

②事業・講座等

名称	実施回数	受講・利用者数
防犯教室	7 回	730 人
交通安全教室	6 回	576 人
救急救命講座	7 回	697 人
火災予防講座	7 回	745 人
転倒予防講座	6 回	587 人
音楽教室	5 回	536 人
世代間交流会	2 回	238 人
指ヨガ教室	6 回	607 人
認知症予防講座	5 回	650 人
ゴミの出し方出前講座	7 回	784 人
介護保険講座	7 回	768 人
クラブ活動／社交ダンス	23 回	266 人
クラブ活動／習字	24 回	379 人
クラブ活動／グラウンドゴルフ	133 回	525 人
クラブ活動／大正琴	2 回	4 人
健康サロン	82 回	1,750 人
その他　健康相談者数		2,078 人
合計	329 回	11,920 人

③指定管理者指定申請

三島市老人福祉センターの平成 30 年度から平成 34 年度分までの指定管理業務について、引き続き受任できるように手続きを行いました。

日付	内容
平成 29 年 8 月 1 日	三島市老人福祉センター指定管理者公募開始
平成 29 年 8 月 21 日	公募説明会・施設見学会
平成 29 年 9 月 15 日	指定申請書提出
平成 29 年 10 月 10 日	応募者ヒアリング
平成 29 年 10 月 20 日	「三島市老人福祉センター指定管理者指定申請の審査結果について(通知)」により第 1 順位候補者となる
平成 29 年 11 月 20 日	仮協定書締結
平成 29 年 11 月 28 日	三島市議会定例会で指定管理者決定

１１　その他の事業

（１）三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年に社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに従い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

平成 30 年度実績額	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
	7,909,475 円	3,696,581 円

（２）助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事業名	助成額
三島市小中学校連合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の助成(小学校 6 年生 57 件 6,000 円/件)	285,000 円
三島市中学校修学旅行団	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の助成(中学校 3 年生 74 件 7,000 円/件)	518,000 円
三島市子ども会連合会	子どもカップ中央球技大会	100,000 円
	子ども会フェスティバル	63,000 円
	アウトリーダー講習会	100,000 円
三島地区保護司会	社会を明るくする運動	160,000 円
三島市民間社会福祉施設協議会	民間社会福祉施設職員の質の向上	225,000 円
三島市民生委員児童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000 円
	広報紙「ぬくもり」の発行	100,000 円
三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000 円
合計　7 団体		2,043,000 円

（３）福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出事業

在宅の外出困難な高齢者及び障がい者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、日常生活の向上を図ることを目的に実施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出	介護補聴器貸出
33 件	164 件	0 件

（４）障がい者スポーツ大会参加支援

市内の障がい者支援事業所及び関係団体の会員が参加する三島市との共催事

業において、本会の事業所の参加はもとより、参加推進を図るべくバス2台を借り上げ、会場まで巡回バスを往復1回運行しました。

（５）生きがい教室の運営

介護予防事業の一環として、市の委託を受けて市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室3箇所に「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、各種サービスを提供しました。

①利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	226 日	228 日	228 日	682 日
延べ利用者数	6,056 人	7,208 人	6,759 人	20,023 人
平均利用者数	26.8 人/日	31.6 人/日	29.6 人/日	29.4 人/日

②介護予防普及啓発事業の実施

実施場所	回数	参加者	内　　容
西小 生きがい教室	14 回	221 人	・３Ｂ体操／インストラクターの指導により楽しみながらストレッチ及び体操を行ない介護予防に努めました。 ・健康表現体操／ストレッチ、筋力トレーニング、気功、表現体操などの運動要素を取入れ、体力の維持・増進を図りました。 ・音楽療法／歌唱や楽器演奏を通して、精神的・心理的な効果を得ることにより心身の健康維持と向上を図りました。
東小 生きがい教室	12 回	392 人	
南小 生きがい教室	13 回	179 人	

（６）高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅A棟で実施している「高齢者世話付住宅（平成30年3月1日現在18世帯20名居住）」に対して3名の生活援助員を配置し、2交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。

（７）実習生の受け入れ

保健・医療・福祉の分野を総合的に学び、地域の人々の保健衛生・健康保全に貢献できる看護職者の養成を目的に、順天堂大学保健看護学部の高齢者看護実習生を、老人福祉センター、西小・東小・南小の各生きがい教室で受け入れ、次代の保健・医療・福祉を担う人材育成に協力しました。

受入期間	実習生
平成 29 年 8 月 21 日～8 月 24 日（前期） 平成 29 年 9 月 4 日～9 月 7 日　（後期）	順天堂大学保健看護学部 前期・後期　各 29 名